

平成23年9月27日

ひたちものづくりサロン（HMS）総会のご案内

主催 ひたちものづくり協議会
共催 茨城大学産学官連携
イノベーション創成機構

ひたちものづくり協議会では、産学官連携による地域活性化を目的とした「出会いと連携の場」としてひたちものづくりサロン（HMS）を開設しております。

今年の10月より新たな出会いを求めて装いを新たに再出発することとなりました。そこでこの趣旨をご説明し、会員以外の方にも同会の趣旨をご理解頂く良い機会ですので、出来るだけ多くの皆様にご参加をご案内させていただきます。

なお、総会に引き続き、14時から同じ会場で恒例の茨城大学工学部研究室訪問交流会と合同の懇親交流会が予定されておりますので合わせてご案内申し上げます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. 期 日 平成23年10月19日(水) 13時00分～13時40分
(受付開始 12:30)
工学部研究室訪問交流会・懇親交流会 14時～18時
2. 会 場 茨城大学工学部 E5棟 8階 (イノベーションルーム)
茨城県日立市中成沢町4-12-1、Tel.0294(38)5004
3. 参加対象者 会員、非会員を問いません
4. 参加費 無料(但し、懇親会参加者は1,000円/人)
5. 申込み方法 5ページの書式に所定事項をご記入いただき、下記連絡先にFAX
またはメールで申込み願います。
(申込締切日:準備の都合上、10月5日(水)までにお申込み下さい。)

連絡先

団 体 名	連 絡 先
茨城大学イノベーション創成機構 (産学連携室)	TEL:0294-38-5005 FAX:0294-38-5240 メール:hms-jimukyoku@mx.ibaraki.ac.jp

6. 内 容

《ひたちものづくりサロン（HMS）総会》

- 13：00 ～ 挨拶 HMS友部会長（日立商工会議所副会頭）
13：10 ～ HMSについてのご説明
HMS太田代表幹事（茨城大学産学官連携イノベーション創成機構）
13：30 ～ 13：40
茨城大学の産学連携活動について
前川克廣 茨城大学産学官連携イノベーション創成機構長

《工学部研究室訪問交流会》

- 14：00 ～ 挨拶 神永文人 理事・副学長（学術担当）
14：05 ～ 友田 陽 工学部長
「工学部の教育研究について（仮題）」
14：30 ～ 特別講演
「福島第一原発事故－放射能除染の方法と社会システム－」
工学部生体分子機能工学科 熊沢紀之 准教授
内容：発表者は飯舘村、伊達市において、日本原子力研究開発機構のグループと共同で除染実験並びに除染活動を行ってきた。これらの経験から、汚染拡大防止や除染の基本的手法を紹介し、除染を実行するための社会システムについても提案したい。
15：00 ～ 16：30
研究室見学 Aコース
Bコース（内容は4ページ参照）
*ご参加者より、A、Bコースの希望調査をあらかじめ実施し、2コースに分けてご案内します。
なお、コースについては希望者人数によりご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。
16：30 ～ 17：00
パネル展示・閲覧&休憩
17：00 ～ 18：00
懇親交流会 <多くの皆様のご参加をお待ちしております。>
会場：E5棟8階ラウンジ

7. 訪問研究室紹介

※写真撮影は、原則として禁止させていただきます。予めご了承ください。

Aコース

- ①研究室名：「NANO-ENGINEERING LAB. (nLab)」
担当教員：知能システム工学領域 周立波教授、清水淳准教授、小貫哲平准教授、尾畷裕隆講師
見学内容：「半導体材料の精密加工および評価」
半導体材料の精密加工および評価を主とした関連研究内容及び設備を紹介。
- ②研究室名：「半導体研究室」
担当教員：電気電子工学領域 鵜殿治彦准教授
見学内容：「資源・環境リスクに対応したシリサイド半導体の開発とグリーンエネルギーへの利用」
地殻中の元素資源量が豊富かつ毒性の低い元素で構成されるシリサイド半導体は資源・環境リスクの低い新規の半導体として注目できる。見学ではシリサイド半導体の開発を通じて明らかになった特徴を利用した熱電発電やシリコン系薄膜太陽電池の研究について紹介する。
- ③研究室名：「プラズマ研究室」
担当教員：大学院理工学研究科応用粒子線科学専攻 池畑隆教授
見学内容：「プラズマ・ビーム技術の材料デバイス、環境分析分野への応用」
イオン・プラズマ技術を応用したものづくり支援ツール、分析ツールの開発をめざす。例として、絶縁性基板の超平坦化イオン研磨技術、成膜ツールとしての大電力パルススパッタHPPS、残留農薬の迅速分析研究を紹介する。
- ④研究室名：「材料力学研究室」
担当教員：機械工学領域 堀辺忠志教授、大学院生
見学内容：「欠陥の同定法」
構造物中の亀裂は、重大な事故を招来することがあり、亀裂の早期発見は重要な課題である。
本研究室では、構造物に潜む亀裂をリアルタイムに発見するための実験的手法について解説する。

Bコース

- ①研究室名：「構造・地震工学研究室」
担当教員：都市システム工学領域 呉智深教授、車谷麻緒講師
見学内容：「光ファイバセンサによる構造ヘルスマニタリング」
橋桁と交通荷重に関する簡易的な試験を行います。レール底面に光ファイバセンサを設置し、鉄球を転がすことで、光ファイバセンサの精度・感度を実証するとともに、計測したひずみ量をもとにレールの挙動を捉えます。

②研究室名：「景観・空間設計研究室」

担当教員：都市システム工学領域 小柳武和教授、桑原祐史准教授

見学内容：「衛星リモートセンシング/簡易センシングと GIS による地理/環境情報の生成」

研究室では、南太平洋島嶼国(ツバル、マーシャル)や東南アジア諸国(ベトナム、タイ)といった海外の国々や、茨城県内を対象として、土地被覆やDEMそしてCO2濃度の変遷情報を生成、マッピングしている。現地調査によるトゥルース取得により、新たな情報生成と確認も行っている。これらの研究事例を紹介する。

③研究室名：「米倉研究室」

担当教員：情報工学領域 米倉達広教授、研究室学生

見学内容：「震災・復興支援にみるソーシャルメディアの威力」

本研究では、茨城県北地域において震災時の情報共有手段に関するアンケート調査を実施し、大震災時における情報共有手段の調査を行なった。また物資支援、住居支援、義援金・支援金支援の3つの形態を通して、ソーシャルメディアによる被災者と支援者と仲介者の関係を調査したので報告する。

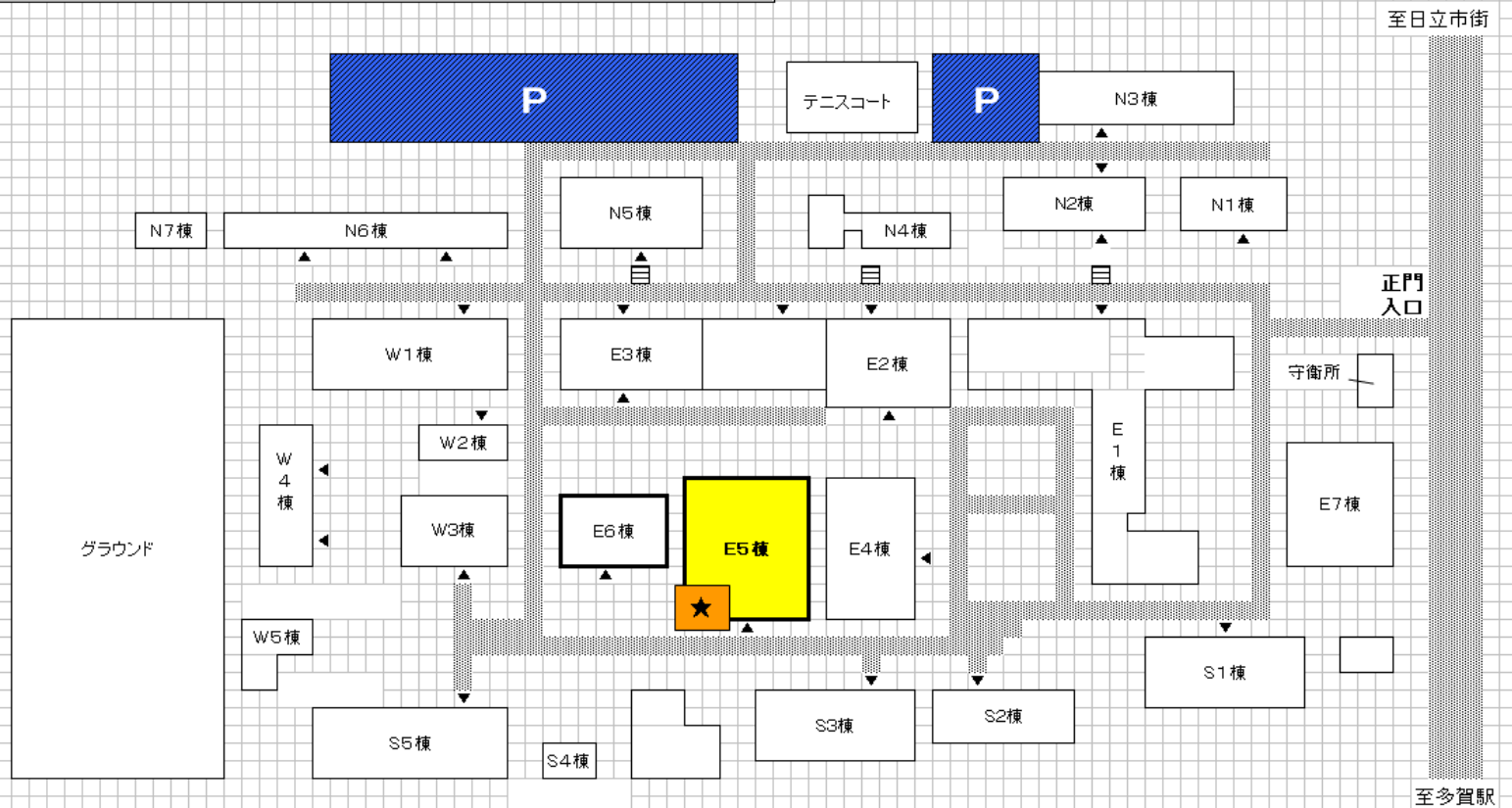
④研究室名：「米倉研究室」

担当教員：情報工学領域 米倉達広教授、研究室学生

見学内容：震災・復興支援パッケージ「穴ぼこドットコム」

本研究は、道路や橋梁の損壊情報を一般市民から行政機関などに手軽に連絡できる手段に関するものである。携帯電話のカメラ機能を用いて現場の状況を撮影し、その画像をメールで既定サイトに通報することで特に震災後の復興支援にも寄与することが期待できる。

「茨城大学工学部研究室訪問交流会」会場案内図



★ 受付・講演会・懇親交流会(E5棟 8F インベーションルーム)

宛先 FAX _____



茨城大学工学部研究室訪問交流会 参加申込書

[ひたちものづくりサロン(HMS)総会 参加申込]

(平成23年 月 日申込み)

会社名・団体名					
参加者	所属・役職名	ご芳名	※研究室見学 ご希望コース	懇親交流会	HMS 総会
			Aコース	参加	参加
			Bコース	不参加	不参加
			Aコース	参加	参加
			Bコース	不参加	不参加
申込担当者の 所属・ご芳名		TEL : FAX : E-Mail :			

※ 研究室見学ご希望コースについては、希望者人数によりご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

【技術相談希望について】

茨城大学産学官連携イノベーション創成機構では、産学官共同研究や技術相談の窓口を開いております。

今回の交流会を機会に、産学官の連携・技術相談についてのご要望をお伺いいたします。相談希望がございましたら下記にご記入下さい。

後日、産学官連携イノベーション創成機構の担当者が、ご連絡をさせていただきます。

- ① 大学研究者に技術相談をしたい
- ② 技術・商品等の共同開発を行ないたい
- ③ 今回の訪問研究室以外の研究室を訪問したい 等々

相談希望について	希望あり	希望なし
内容（簡潔に） 例）産学共同研究で 〇〇の開発を行ないたい		
ご相談者の役職・ご芳名		
ご相談者の連絡先	TEL : FAX : E-Mail :	